

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を作り「寄り添う心」、「普通の暮らしが生きる心地良さ」を、常に念頭に置き、取り組んでいる。	○
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に、理念へ向かい、会議などの場で、全員で話し合い取り組んでいる。	○
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	独自の新聞を、周辺住民の方々へ配布し、運営推進会議や地域貢献などを通じ、地域住民に理解してもらえるよう取り組んでいる。	○
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	行事などを通じ、地域住民の方々やボランティアの学生と交流を図り、早朝の挨拶運動やゴミ拾いなどに参加し、地域に貢献をし理解してもらえるよう取り組んでいる。	○

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々、理念へ向けて会議等で話し合い、業務やケアの改善を図っている。必要に応じて、その都度職員間で話し合い、より良い援助を行える様に取り組んでいる。	○
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの質の向上を図る為、地域包括や家族代表の方からの意見を取り入れている。	○
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行事などに、地域担当者の方に来て頂き、質の向上に取り組んでいる。	○
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	会議など、職員が集まる場で話し合い、勉強し、必要な方かどうかを見極め、必要な方には支援していける様、取り組んでいる。	○
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止に取り組む為に、勉強し、必要であるならば市や県で実施している、研修などに参加し、職員の行動や言動などに注意するように取り組んでいる。	○

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の方が、納得してもらえらるまで説明を行っている。	○	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に、利用者様も参加して頂き、意見を地域の方や管理者に伝わるように行っている。	○	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の利用料の請求書送付の際に、健康管理情報や利用者様の普段の生活風景や行事の風景等の写真を同封し送っている。	○	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や要望を聞くために、事務所前に意見箱を設置している。面会時も玄関まで見送り、要望、意見が無いか聞くように取り組んでいる。	○	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務中の疑問、質問、提案などを随時反映出来るように、運営者のメールアドレスを公表し受け付け出来る体制にしている。	○	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各職員の緊急時の連絡先を各自把握し、要望や緊急時に対応出来るように取り組んでいる。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動などは最小限にし、利用者様の気持ちが落ち着いた生活が送れるように取り組み、新人職員に対しては、その場その場で指導している。	○	
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会議などを通じての勉強会、苑外の研修に参加している。	○	
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	合同行事、相互評価等を行い、交流を行っている。	○	
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的な運営者との個人面談、誕生日休暇などを取り入れている。	○	
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	常に向上心を図る為に、努力している職員に対しては、昇給や手当をつけている。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前に十分に話を聞き、要望や不安の解消を図り安心してもらえるように、時間をかけて話し合えるようにしている。	○
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常に本人の要望や家族の意見を常に要望し対応していける様に取り組んでいる。	○
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	面会時等の、些細な会話を見逃さず、意見を常に反映出来る様に、職員間で話し合う場を設けている。	○
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	コミュニケーションを多く取り、常に一緒に居る時間を作り、支えあえる関係作りを行える様に取り組んでいる。	○

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との意見の交換場を作り、ケアへの方向性などを常に検討している。	○	
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族に理解をして貰える様に、面会時や緊急時には連絡し話し合い、良い関係作りが出来るように取り組んでいる。	○	
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人、利用者様に関係する場所等をコミュニケーションの中に取り入れ、関係が途切れないような、援助が出来る様に取り組んでいる。	○	
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	各利用者様が孤立しない様に、常に目を配りお互いに良好な関係を維持出来る様に、取り組んでいる。	○	
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	常に、相談が出来る様な体制を作りを行い。次への場所が決まるまでの援助を行っている。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月の会議の際や必要な場合にアセスメントを行い職員同士が話し合い、利用者様が望んでいる生活に近づけるように取り組んでいる。	○
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話での聞き取りが難しい場合は、家族より聞き取りを行い、生活の変化を最小限に留める様に取り組んでいる。	○
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人のペースに合わせ、各利用者様に適した援助を行えるように取り組んでいる、必要に応じて家族から情報を得ていくように行っている。	○
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画に反映出来る様に、家族からの情報や本人からの聞き取りを行いケアのあり方を常に会議などで話し合っている。	○
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況が常に変化しているのと言う事を、常に念頭に置き、些細な変化を見逃さないようにし、常にケアの方向性を決め、介護計画を作成し、会議の場を利用し共有している。	○

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	些細な事や状況の変化を、各職員が一目で分かるように、会話なども記入するように取り組んでいる。ケアの変更が必要な場合は、常に介護計画を見直す場を設けている。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	中部クリニックや協立病院と連携を図り、利用者様の状況に適した援助やケアに取り組める様な体制を作っている。必要に応じて家族からの情報や同伴での通院など状況を見極めて対応している。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員やボランティアと協力を取れるように体制をつくり、常に受け入れ事が出来るように、取り組んでいる。	○	
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者様を一番に考え、常にベストなケアが出来ているかを検討をし、必要に応じて、他事業所と協力、連携を図っている。	○	
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議、行事の際に意見交換し、本人の意見や家族の意向に、随時対応出来るように取り組んでいる。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自宅での生活などを知り、職員と一緒に食事準備、片付けなどを、共に行っている。各利用者様の食事の好みを、その都度チェックし、楽しみながら、尚且つ、美味しく頂ける様に対応している。	○	
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ好みなどを知り、楽しめる場所作りが出来るように、取り組んでいる。(硬い、軟らかい、甘い、しょっぱい)。食事に関しては、嗜好を見極め、白いご飯か混ぜご飯かの自由な選択を取れるように対応している。	○	
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者様に合わせ、無理な誘導はせず、本人の意向を尊重し対応している。誘導時には拒否しないよう安心して頂ける様に声掛けを行うように、常に心掛けている。	○	
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	各利用者様が、いつでも入浴出来る様に取り組んでいる。入浴したいと言う訴えがあった場合、別ユニットと連携し対応できる、体制が出来ている。	○	
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休憩場所として、ソファなどのフリースペースを活用し、休みたい時に、休める環境作りに取り組んでいる。	○	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各利用者様が、身体状況に合わせて、役割り分担を行い、一日の流れがある生活、役割を持つことにより、生活のめりはりを持てるように援助に取り組む。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の意向を尊重し、自由な買い物、趣味への活用など、生活をそのまま移行出来る様に取り組んでいる。金銭管理については、毎日職員が、確認し紛失などに早期対応出来る体制を作っている。	○	
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者様の要望、希望などがある場合、職員同伴での外出ではあるが、苑外に出れるように取り組んでいる。	○	
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事などを通じ、本人の希望を尊重し、馴染みの場所や気分転換を図る為に、計画し、実施している。	○	
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	県外からの贈り物などがあつた場合、本人の希望により代筆し、写真を添えお礼状を送付している。	○	
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族以外の面会に制限をかけず、馴染みの友人などが気軽に、面会出来る状況を確保出来ている。	○	
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関して、正しい認識を持つ為に、会議の場、苑内研修、苑外研修を行い、知識習得に取り組んでいる。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室、玄関には日中は、施錠せず。夜間時のみ、防犯の為に玄関のみ施錠を行っている。	○	
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜問わず、各利用者様が自由な時間を過ごしながら、尚且つ、目配りを忘れず常に安全な生活を確保出来る様に、取り組んでいる。	○	
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各利用者様の状況に応じて、苑での保管か、本人の保管を見極め、プライバシーに考慮し取り組んでいる。	○	
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒時のマニュアルを作成し、いつ何時事故が起こっても対応出来る様に、取り組んでいる。事故が起こる前に、危機察知能力を高め、事故防止に取り組んでいる。	○	
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時のマニュアルを作成し、いつどんな時でも、即時対応出来るように取り組んでおり、職員の研修として救急の講習や応急手当の講習に参加し勉強している。	○	
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練、緊急連絡訓練、設備点検を行い、災害時に適切な対応が出来るように取り組んでいる。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクについての説明を、入所前に説明し、通院などし、身体状況が変化した場合には、家族へ連絡し随時説明を行っている。リスクが生じることに寄って、利用者様の生活の抑制を行わず、随時対応出来るように、職員同士で話し合う場を設けている。	○	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝、晩のバイタルチェックを行い、体調の変化、会話の変化などに気を配り、必要時においては各職員へ連絡し、対応の統一化、情報の共有を行っている。	○	
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は本人か確認し、服薬したかを最後まで見守り、誤薬防止に取り組んでいる。常に状態の変化に目を配り、適しているかをかかりつけ医と相談できる体制の確保が出来ている。	○	
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便の確認を常に行い、必要あるのなら家族より利用者様の状況を確認し、かかりつけ医と相談しながら、随時対応が取れる様な体制を作っている。	○	
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯の方には、本人同意の元に、預かり夜間時に洗浄剤などを活用し、口腔状態の管理を行っている。口腔疾患があった場合、随時相談し受診できるように取り組んでいる。	○	
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保出来るよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成しているメニューにより、カロリー、栄養バランスなどが、確保されている。水分に関しては、談話中など随時水分補給出来るように、取り組んでいる。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを作成し、感染者が出た場合の対応が確保されている。共有の場（トイレ）共有物（おしぼり）などは、漂白剤などを使用し、殺菌している。	○	
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食後、調理器具は塩素系洗剤を使用し漂白を行い、食中毒予防に取り組み、洗面台には手洗いのポスターを貼り、日ごろから目に付くようにし、常に取り組んでいる。	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	苑外活動の一環で行っている、家庭菜園、玄関に花などを置き、気軽に入れる様に、利用者様と一緒に取り組んでいる。	○	
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、持ち込める物なら、馴染みの物を持ち込める環境作りを行い苑内での生活に早く慣れるように、取り組み。リビングは台所より、一目で見渡せるように作り、カーテン、窓、季節の飾り物などを活用し、より過ごし易い環境を保てるように、取り組んでいる。	○	
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには、ソファや椅子を設置し、いつでも誰でも自由に利用できる環境作りに取り組んでいる。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	利用者様には、行動範囲の制限をせず、昼食後な ど自由に苑内を移動し、ソファなど、フリース スペースの利用や活用を行い、他の利用者様とコ ミュニケーションをとれるように取り組んでい る。	○	
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	環境整備の一環に、空気の入替えなど、常に循 環させ、体調不良を起こさないように、取り組ん でいる。	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下など身体機能に合わせ、各所に手すりなどを 設置し取り組んでいる。	○	
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	介護目標を理解し、個々の身体状況、残存機能、 関節稼働域の把握に努め、その場の状況に合わ せ、自立にした暮らしに迎えるように援助を行っ ている。	○	
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	各行事の写真や利用者様の作成した作品、今ある スペースを最大限活用したレク活動、敷地内の畑 の園芸療法など生活の中での活動量が多くなる様 に取り組んでいる。	○	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない 常に傾聴に努め、希望、要望に対応している。
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない おやつの時間、昼食の時間などに、一緒に肩を並べゆったり出来る時間や場面がある。
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 本人の状況の理解に努め、その人らしい生活が送れる。
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 日常生活の中での表情など細かい部分まで、気を配り笑顔で暮らせるように努めている。
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 外出の場や希望に対して、散歩など些細な部分にまで対応できている。
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 体調不良の訴え等、常に状況を把握し、職員同士、または看護師への相談、かかりつけ医への連絡、相談を行い適切な対応を図っている。
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 意見の尊重、要望の聞き取りに努め、安心して暮らせるように援助を行っている。
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない 面会時などに要望や疑問点を聞きだし、随時対応している。
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない 友人や知人などが、気軽に来苑出来るように努力したい。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない 行事への参加、地域貢献を通じ、理解、支援して頂いている。
95	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない 職員の要望や提案を受け入れ、職員が働きに来て生きがいを見つけ出せるような環境を作っている。
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 日常生活の中での表情など細かい部分まで、状況を把握に努めている。
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない 面会時の些細な会話や要望、希望を把握し、援助の向上に努めている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

健康管理情報の送付、行事の写真の貼り出しなどを行い、常に笑顔で生活出来ている様子を伝えている。